

令和元年度第1回犬山市高齢者地域ケア・生活支援推進協議会
移動支援検討部会 次第

日時：令和2年10月6日（火）

午後1時30分～3時

場所：犬山市役所 205会議室

1. あいさつ

2. 報告事項

（1）高齢者移動支援事業について（資料1）

3. 協議事項

（1）移動支援事業のためのニーズ調査について（資料2）

4. その他

犬山市高齢者地域ケア・生活支援推進協議会 移動支援事業検討部会 委員名簿

	名前	所属団体	備考
1	岡田 和明	名古屋経済大学	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
2	加藤 武志	中京大学	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
3	板津 克哉	犬山市社会福祉協議会	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
4	奥村 好樹	犬山商工会議所	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
5	矢島 幹弘	介護サービス事業者協議会	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
6	森岡 万朱衣	楽田地区コミュニティ推進協議会	高齢者地域ケア・生活支援推進協議会委員
7	熊崎 晋太	高齢者あんしん相談センター	
8	井上 明	愛知県福祉局高齢福祉課地域包括ケア推進室	

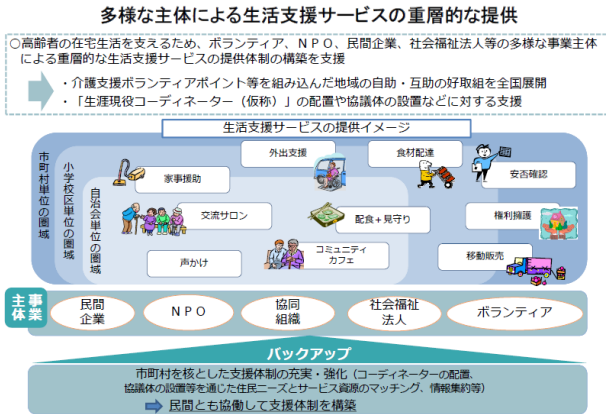
事務局:

高齢者支援課、防災交通課、地域協働課

犬山市高齢者移動支援事業 について

犬山市役所 健康福祉部 高齢者支援課

「支え合い」が必要な背景



少子高齢化…
社会保障費の増大…
という時代の中

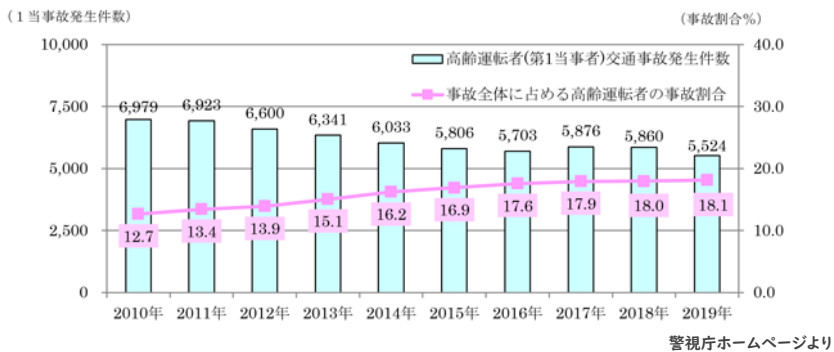
多様な担い手の確保

高齢者の社会参加

が求められていく

～高齢者の移動に関する現状～

交通事故発生件数



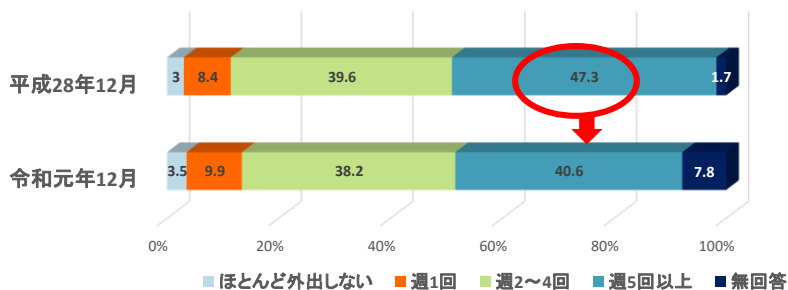
高齢運転者交通事故発生件数は一見減っているように見えるが、
事故全体に占める高齢運転者の割合は **増加**

～高齢者の移動に関する現状～

外出の現状①

3年に1回の高齢者福祉・介護に関するアンケート(犬山市役所実施)より

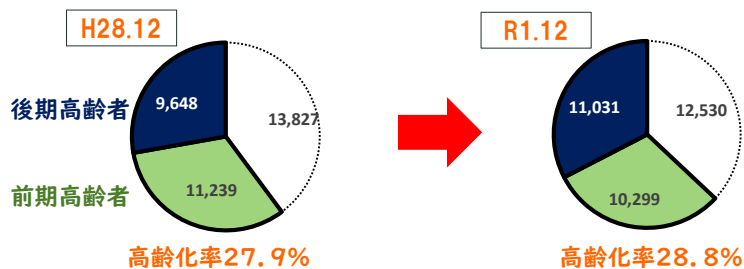
◆週に1回以上は外出していますか



アンケートについて

- ◆アンケートの対象
65歳以上の高齢者 2,000人に配付

- ◆3年の間にどんな変化が？

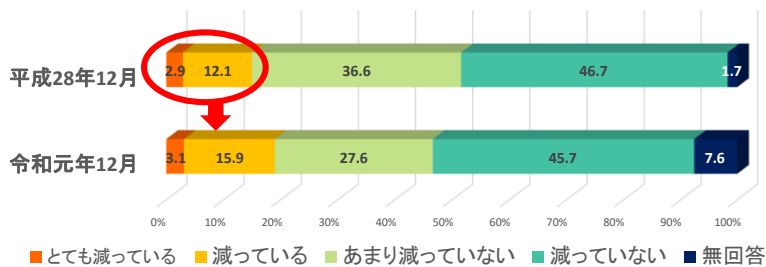


～高齢者の移動に関する現状～

外出の現状②

3年に1回の高齢者福祉・介護に関するアンケート(犬山市役所実施)より

- ◆昨年と比べて外出の回数が減っていますか

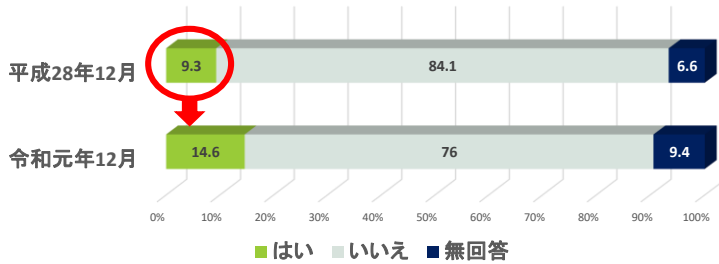


～高齢者の移動に関する現状～

外出の現状③

3年に1回の高齢者福祉・介護に関するアンケート(犬山市役所実施)より

◆外出を控えていますか



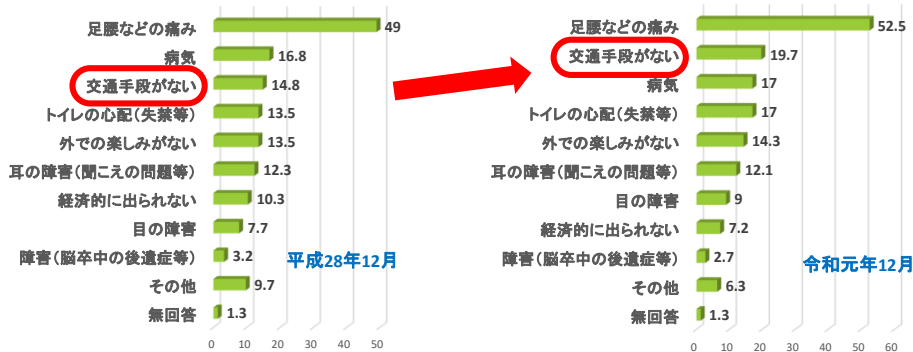
全体的に外出の頻度が減少

～高齢者の移動に関する現状～

外出の現状④

3年に1回の高齢者福祉・介護に関するアンケート(犬山市役所実施)より

◆外出を控えていると回答した方におたずねします
外出を控えている理由は次のどれですか(複数回答あり)



愛知県高齢者移動支援事業を受託

市内5圏域における第2層協議体では、高齢者の移動の問題がしばしばあがっていた。

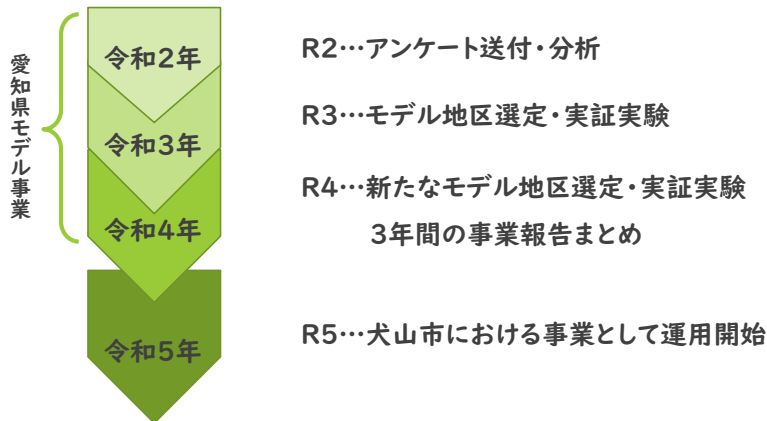
【移動の問題（一部）】

- ・コミュニティバス停までが遠い
- ・受診が頻回で、タクシー代が負担
- ・家から出る手段が減り、閉じこもりがちになっている など

→住民主体で解決するには課題が大きすぎるため
課題把握も含め愛知県事業を活用することに

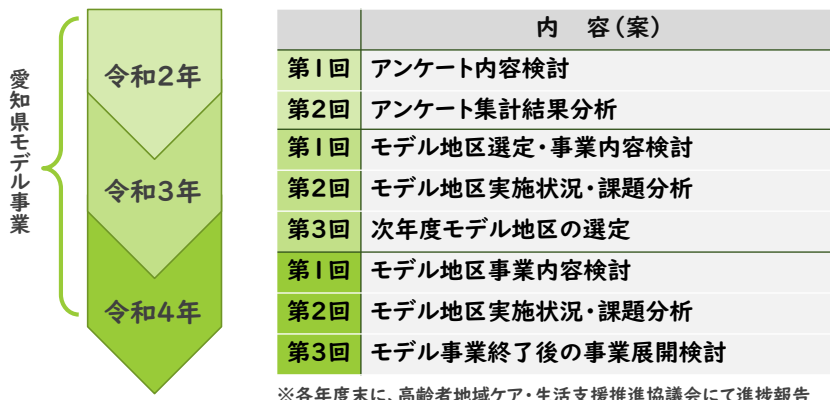
愛知県高齢者移動支援事業を受託

◆犬山市における移動支援事業スケジュール



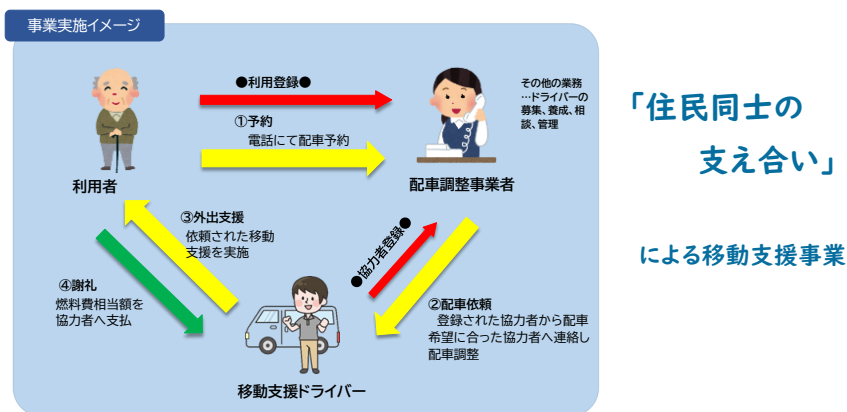
愛知県高齢者移動支援事業を受託

◆移動支援事業検討部会スケジュール



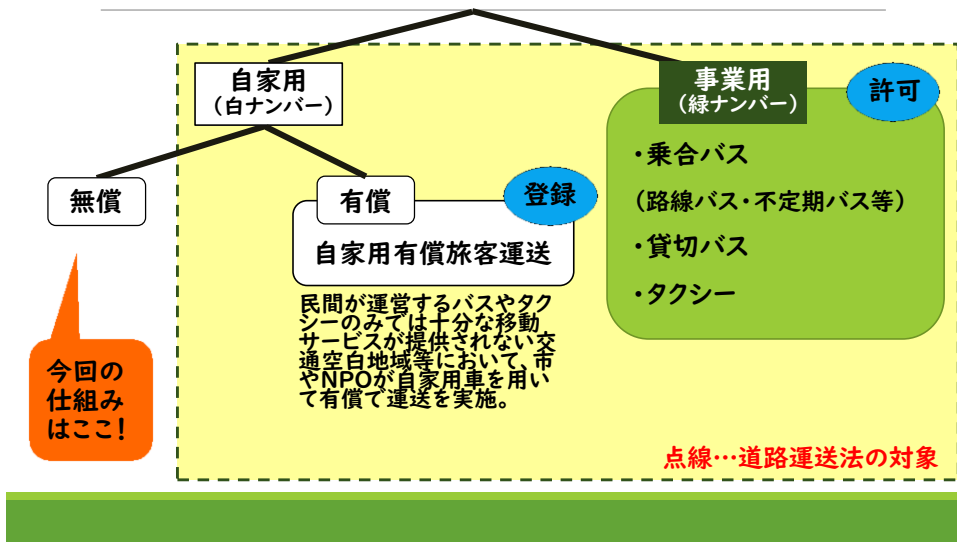
※各年度末に、高齢者地域ケア・生活支援推進協議会にて進捗報告

犬山市が目指す 高齢者移動支援事業のイメージ



～道路運送法に基づいて整理～

「移送」にはどんな種類があるか

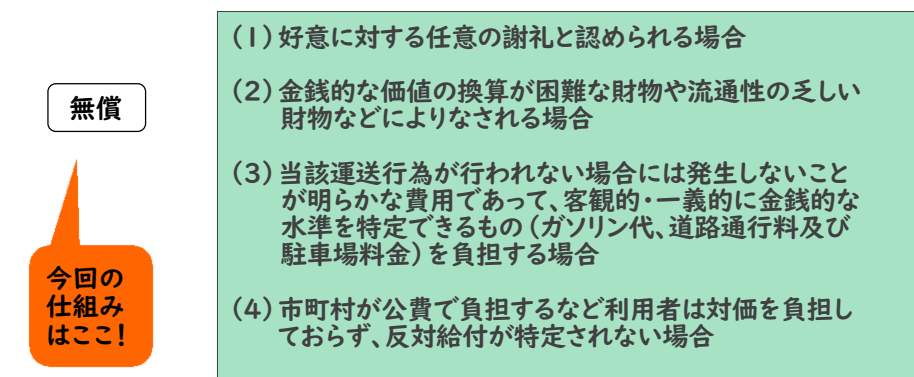


追加

～道路運送法に基づいて整理～

「無償」とは言うものの・・・

【道路運送法における許可又は登録を要しない運送の態様について】



近隣市町村の移動支援事業実施状況

◆扶桑町

社会福祉協議会が自主事業として実施。財源は赤い羽根共同募金等。ボランティアドライバー・社協職員が扶桑町在住の要援護者を送迎。

◆可児市

地区社協が地区内在住者限定で実施。ドライバーは一般公募。保険への加入、利用回数の制限などを行っている。

◆一宮市

社会福祉法人が地域貢献として実施。デイサービス送迎者の空き時間に、地域住民をスーパーまで送迎。

◆春日井市

高蔵寺地区社協が市の補助金を受け実施。対象者は要支援者（ケアマネの計画は必須）。

R2 アンケート送付・分析 「移動支援事業のためのニーズ調査」

◆目的

- ①犬山市における移動の実態を把握する
- ②市民が抱えている課題を把握する
- ③移動支援事業を利用したい市民を探る
- ④移動支援事業に参画できる市民(担い手)を探る

◆配付スケジュール

- ・11月 2日(月) 配付
- ・11月20日(金) 催促状配付
- ・11月27日(金) 回収メ切

移動支援事業のための調査 **資料 2**

日ごろより、本市の高齢者福祉にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
急速な少子高齢化が進む日本では、国や地方自治体の収入は、大幅な増収が望めず、支出では社会保障費の占める割合が年々増加していく傾向にあります。また、犬山市は近隣市町村と比較して、高齢者の割合が高く、単身世帯が増加していることもあり、高齢者をとりまく様々な課題が浮き彫りとなっております。

本市では、こうした現状を踏まえ、高齢者の方が感じている生活の困りごとを解決するために、住民同士の支え合いの推進を図っています。

さて、今回お願いする調査は、皆様の移動に関する現状と課題を把握し、住民同士の支え合いによる解決方法を検討していくための基礎資料となるものです。

この調査は、令和2年4月1日現在、20歳以上の市民で、要介護3～5の介護認定を受けていない方の中から、無作為に抽出した4,000名の方を対象としています。

今後の犬山市民の皆様の生活を支えるために、重要な調査となりますので、是非アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年11月

犬山市長 山田 拓郎

◆ご記入にあたっての注意事項◆

- ・1つの世帯で複数の方にアンケートが送付されている場合がありますが、送付されたご本人様の状況をお答えください。
- ・質問は「問9」まであります。すべての質問にご回答ください。
- ・回答は、該当する番号および回答内容を回答欄に記入してください。
- ・回答していただいたアンケートは、令和2年11月27日(金)までに同封の返信用封筒に入れ、封をして郵送により返送してください。

◆個人情報の取り扱いに関して◆

- ・アンケートの回答内容は、個人を特定・認別できない形にした上で、統計処理をさせていただきます。市ホームページ等にて公表する場合がありますので、予めご了承ください。
- ・氏名・住所等の個人情報をご回答いただいた場合は、移動支援事業のために利用させていただきます。回答者の承諾なく、他の目的には利用いたしません。

お問い合わせ先

〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑36番地

犬山市役所 健康福祉部 高齢者支援課 高齢者福祉担当

電話：0568-44-0325 (平日8:30～17:15)

メール：030200@city.inuyama.lg.jp

移動支援事業のための調査 調査票

■ あなた自身のことについて

問1 あなた自身のことについて、該当する番号を回答欄にご記入ください。

回答はこちらに↓

①性別	1. 男性	2. 女性	<input type="text"/>
②年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60～64歳	6. 65～69歳
	7. 70～74歳	8. 75～79歳	9. 80歳以上
			<input type="text"/>
③職業	1. 会社員・経営者（公務員含む）	2. 自営業	<input type="text"/>
	3. パート・アルバイト	4. 家事専業	
	5. 学生	6. その他	
	7. 無職（定年退職含む）		
④お住まいの 地区	1. 犬山北小学校区	2. 犬山南小学校区	3. 城東小学校区
	4. 今井小学校区	5. 栗栖小学校区	6. 羽黒小学校区
	7. 楽田小学校区	8. 池野小学校区	9. 東小学校区
	10. 犬山西小学校区	11. 分からない	<input type="text"/>
⑤家族構成	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子
	4. 三世帯同居	5. その他	<input type="text"/>
⑥普通自動車運転免許	1. 持っている	2. 持っていない	<input type="text"/>
⑦自動車	1. 持っている	2. 持っていない	<input type="text"/>
⑧40歳以上で要 介護認定(※) を受けている 人にお聞きし ます。 介護度を教え てください。	※要介護認定とは 介護が必要になった際に、介護保険サービス（デイサービスやヘルパーなど）を利用する場合に必要な認定のことです。65歳以上の方もしくは40～64歳で特定の疾患の方が要介護認定を受けることができます。		<input type="text"/>
	1. 事業対象者	2. 要支援1	
	4. 要介護1	5. 要介護2以上	

■ 普段の外出について

問2 あなたは以下の目的で外出する際、どれくらいの頻度で外出していますか。
主に該当する番号を1つを選び、回答欄に記入してください。

回答はこちらに↓

①買い物 (日用品・食料品)	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
②通院	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
③通学・通勤	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
④銀行・郵便局	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
⑤趣味・社会活動 ・ボランティア活動	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
⑥知人・親族等の 訪問	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>
⑦家族のため (習い事・通学・通 院のための送迎等)	1. ほぼ毎日 2. 2～3日に1回 4. 1週間に1回 5. 半月に1回 7. たまに (数ヶ月に1回程度)	3. 4～5日に1回 6. 1か月に1回 8. 外出しない	<input type="checkbox"/>

問3 あなたは以下の目的で外出する際、どこまで外出していますか。
主に該当する番号を1つを選び、回答欄に記入してください。
 (外出しない場合は回答する必要はありません)

回答はこちらに↓

①買い物 (日用品・食料品)	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
差支えなければ、一番よく行く「商業施設名」を教えてください。 施設名 :		
②通院	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
差支えなければ、一番よく行く「病院名」を教えてください。 病院名 :		
③通学・通勤	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
④銀行・郵便局	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
⑤趣味・社会活動 ・ボランティア活動	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
⑥知人・親族等の 訪問	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>
⑦家族のため (習い事・通学・通 院のための送迎等)	1. 犬山市内 2. 大口町 3. 扶桑町 4. 江南市 5. 小牧市 6. 春日井市 7. 可児市 8. 各務原市 9. 名古屋市 10. その他	<input type="text"/>

問4 あなたは以下の目的で外出する際、どの時間帯に外出していますか。
 主に該当する番号を1つを選び、回答欄に記入してください。
 (外出しない場合は回答する必要はありません)

回答はこちらに↓

①買い物 (日用品・食料品)	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	
②通院	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	
③通学 ・通勤	行き	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>
		帰り	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00
④銀行・郵便局	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	
⑤趣味・社会活動 ・ボランティア活動	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	
⑥知人・親族等の 訪問	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	
⑦家族のため (習い事・通学・通 院のための送迎等)	1. 0:00～6:00 4. 12:00～15:00 7. 21:00～24:00	2. 6:00～9:00 5. 15:00～18:00	3. 9:00～12:00 6. 18:00～21:00	<input type="checkbox"/>	

問5 あなたは以下の目的で外出する際、どの曜日に外出していますか。
 主に該当する番号を1つを選び、回答欄に記入してください。
 (外出しない場合は回答する必要はありません)

回答はこちらに↓

①買い物 (日用品・食料品)	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
②通院	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
③通学・通勤	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
④銀行・郵便局	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
⑤趣味・社会活動 ・ボランティア活動	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
⑥知人・親族等の 訪問	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>
⑦家族のため (習い事・通学・通 院のための送迎等)	1. 平日 4. 曜日に関係なく外出	2. 土曜日	3. 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/>

問6 あなたは以下の目的で外出する際、どんな手段で外出していますか。
 主に該当する番号を1つを選び、回答欄に記入してください。
 (外出しない場合は回答する必要はありません)

回答はこちらに↓

①買い物 (日用品・食料品)	1. 徒歩(杖や手押し車なし) 3. 自動車(自分の運転) 5. 自転車 9. その他→ <input type="text"/>	2. 徒歩(杖や手押し車あり) 4. 自動車(自分以外の運転) 6. バス 7. 電車 8. タクシー	<input type="checkbox"/>
②通院	1. 徒歩(杖や手押し車なし) 3. 自動車(自分の運転) 5. 自転車 9. その他→ <input type="text"/>	2. 徒歩(杖や手押し車あり) 4. 自動車(自分以外の運転) 6. バス 7. 電車 8. タクシー	<input type="checkbox"/>

次のページへつづく

<p>③通学・通勤</p>	<p>1. 徒歩(杖や手押し車なし) 2. 徒歩(杖や手押し車あり) 3. 自動車(自分の運転) 4. 自動車(自分以外の運転) 5. 自転車 6. バス 7. 電車 8. タクシー 9. その他→ <input type="text"/></p>	<input type="checkbox"/>
<p>④銀行・郵便局</p>	<p>1. 徒歩(杖や手押し車なし) 2. 徒歩(杖や手押し車あり) 3. 自動車(自分の運転) 4. 自動車(自分以外の運転) 5. 自転車 6. バス 7. 電車 8. タクシー 9. その他→ <input type="text"/></p>	<input type="checkbox"/>
<p>⑤趣味・社会活動 ・ボランティア活動</p>	<p>1. 徒歩(杖や手押し車なし) 2. 徒歩(杖や手押し車あり) 3. 自動車(自分の運転) 4. 自動車(自分以外の運転) 5. 自転車 6. バス 7. 電車 8. タクシー 9. その他→ <input type="text"/></p>	<input type="checkbox"/>
<p>⑥知人・親族等の 訪問</p>	<p>1. 徒歩(杖や手押し車なし) 2. 徒歩(杖や手押し車あり) 3. 自動車(自分の運転) 4. 自動車(自分以外の運転) 5. 自転車 6. バス 7. 電車 8. タクシー 9. その他→ <input type="text"/></p>	<input type="checkbox"/>
<p>⑦家族のため (習い事・通学・通 院のための送迎等)</p>	<p>1. 徒歩(杖や手押し車なし) 2. 徒歩(杖や手押し車あり) 3. 自動車(自分の運転) 4. 自動車(自分以外の運転) 5. 自転車 6. バス 7. 電車 8. タクシー 9. その他→ <input type="text"/></p>	<input type="checkbox"/>

問7 あなたは外出する際、困っていることはありますか。(どちらかに○をつけてください)

困っている

困っていない



「問9へ」

「困っている」と回答した方にお聞きします。

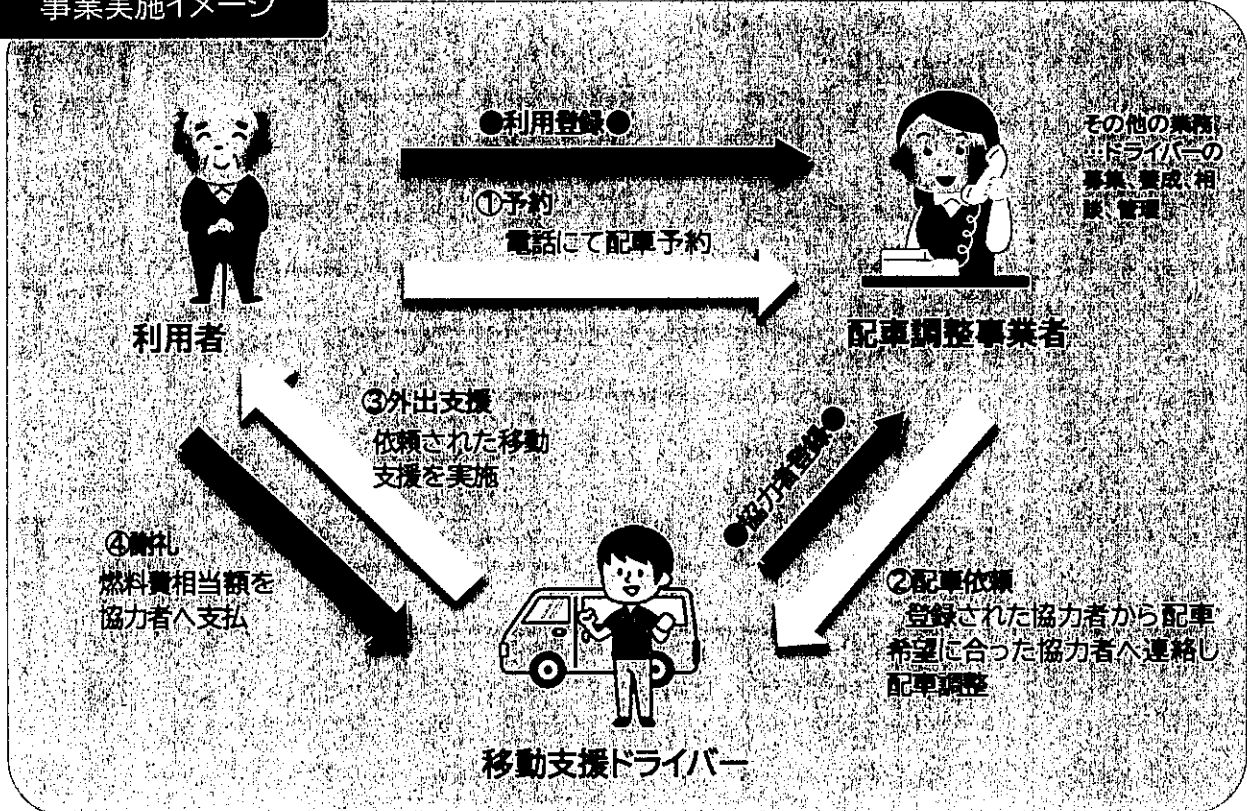
どんなことで困っていますか。該当するもの全てに○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	身体的に外出や移動が不安
<input type="checkbox"/>	環境が悪い(道が暗い、狭い、段差、坂道)
<input type="checkbox"/>	車や自転車に乗ることが不安
<input type="checkbox"/>	電車やバスは利用が不便(駅が遠い、ルートが合わない、便が少ない)
<input type="checkbox"/>	助けてくれる人がいない
<input type="checkbox"/>	その他→ <input type="text"/>

■ 移動支援事業について

本市では、現在の交通手段や家族等の送迎によって外出することが困難な方を支援するため、地域住民や企業がボランティアドライバーとして車両を運転し、外出を支援する仕組みづくりを検討しています。この仕組みが開始された場合の参考にさせていただきたいので、下記の設問に回答してください。

事業実施イメージ



- ①利用希望者は、事前に利用登録を行い、利用したい日時を電話にて配車調整事業者に予約。
- ②配車調整事業者が、利用希望日時に支援ができる移動支援ドライバーを探し依頼。
- ③当日、移動支援ドライバーが利用者を迎えに行き、依頼された外出支援を実施。（保険はドライバー自身が加入している保険で対応することを想定）
- ④利用者は、燃料費相当の実費負担を移動支援ドライバーに支払う。

問8 この仕組みができた場合、利用したいと思いますか。

どちらか1つに○をつけてください。

利用したい

利用したくない

問9 あなたはドライバーとして参加することはできますか。

該当するもの1つに○をつけてください。

参加することができる

条件によっては参加できる



どんな条件であれば参加できますか。

該当するもの全てに○をつけてください。

謝礼金をもらうことができれば参加できる

ガソリン代程度の実費負担分の費用をもらうことができれば参加できる

時間や行先が合えば参加できる

知っている人（知人や同じ町内の人など）を乗せるのであれば参加できる

知っている人（知人や同じ町内の人など）を乗せないのであれば参加できる

その他↓

その他の条件：

参加できない



参加できない理由は何ですか。該当するもの全てに○をつけてください。

運転することができない

協力する時間がない

人を乗せることに不安がある

他人が同乗できる保険に加入していない

その他↓

その他の理由：

■ 移動支援事業に関する案内について

◆差支えなければ、今後、移動支援事業のご案内をさせていただきたいので、連絡先を教えてください。

ふりがな	
氏名	
住所	犬山市
電話	() -
メール	@

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
11月27日（金）までにお近くのポストに投函してください。

会議録

1 附属機関の名称

犬山市高齢者地域ケア・生活支援推進協議会 移動支援事業検討部会

2 開催日時

令和2年10月6日(火) 午後1時30分から3時まで

3 開催場所

犬山市役所 205会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 岡田 和明 委員(名古屋経済大学)
加藤 武志 委員(中京大学)
板津 克哉 委員(犬山市社会福祉協議会)
奥村 好樹 委員(犬山商工会議所)
矢島 幹弘 委員(介護サービス事業者協議会)
森岡 万朱衣 委員(コミュニティ推進協議会)
熊崎 晋太 委員(高齢者あんしん相談センター)
井上 明 委員(愛知県福祉局高齢福祉課地域包括ケア推進室)
- (2) その他 国際開発コンサルタント(アンケート集計・分析コンサル)
- (3) 事務局 健康福祉部 部長 吉野 正根
健康福祉部高齢者支援課 課長 上原 敬正
" 主査 谷本 美幸
" 主査補 葦澤 絵美
市民部 防災交通課 課長 百武 俊一
市民部 地域協働課 課長 中村 亘

5 議題

- (1) 高齢者移動支援事業について(資料1)
(2) 移動支援事業のためのニーズ調査について(資料2)
(3) その他

6 傍聴人の数

2人

7 内容

事務局

(上原課長)

皆さん本日はお忙しいところご参集いただき、ありがとうございます。
令和2年度第1回犬山市高齢者地域ケア生活支援推進協議会、移動支援事業検討部会を開催します。

新たに参加していただいた2名の方については、委嘱状を市長からお一人ずつ伝達させていただくのが本意ではございますが、時間の都合もございますので、席に用意をさせていただきました。ご了承の程よろしくお願いいたします。

また、当会議は、犬山市附属機関の会議の開催に関する要綱に基づき、傍聴希望者へ公開されます。本日の傍聴人は2人です。

また、会議の議事録は、市ホームページに公開することとなっており、公開にあたって委員2名以上の署名が必要です。署名について議事の最後にご案内をさせていただきます。

開会にあたりまして、健康福祉部長吉野正根よりご挨拶を申し上げます。

吉野部長

(挨拶)

事務局

(上原課長)

次に、事前に配布させていただいた資料の確認をします。

(資料確認)

本日は8名の委員の全員が出席です。犬山市高齢者地域ケア・生活支援推進協議会規則、以下規則と表現させていただきますが、規則第6条第3項に規定する会議開催の要件を満たしておりますので、本日の検討部会が成立することをご報告申し上げます。

それでは、今回初めて顔を合わせる方もいますので、委員の皆様より自己紹介・あいさつをいただきたいと思います。

(各委員自己紹介)

事務局

(上原課長)

続いて事務局のご挨拶をさせていただきます。

(事務局自己紹介)

事務局

(上原課長)

それでは、本題に入る前に、検討部会の部会長選出をさせていただきたいと思えます。規則第5条第4項により、検討部会の部会長は、委員のうちから会長が指名することとなっておりますので、岡田会長、ご指名をしていただけますでしょうか。

岡田会長

他市の事例もよくご存じで、委員からの意見のまとめも上手にご対応いただける加藤委員にお願いしたいと思います。

事務局

ありがとうございます。それでは、検討部会の部会長を加藤委員に決定いたしま

(上原課長)	す。それでは、規則第6条第2項に基づきまして、以降の進行は、加藤部会長にお願いしたいと思います。
加藤部会長	<p>改めましてよろしくお願いします。</p> <p>本日は3時が終了時間です。短時間ではありますが、意味のある有意義な会にしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに(1)報告事項：高齢者移動支援事業について、事務局よりお願いいたします。</p>
事務局 (谷本)	<p>(資料1説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化、財源が限られている中で、多様な担い手の確保や高齢者自身の社会参加が求められていく。 ・ 高齢者の免許返納を進めるだけでなく、返納後の生活が困らないような仕組みづくりも併せて必要 ・ 3年間で、高齢者以外の人口減少、高齢化率の増加、後期高齢者と前期高齢者の割合が逆転 ・ 外出する頻度が減っている方が多い、外出を控えている理由として交通手段がないと回答している方が増えている ・ 愛知県高齢者移動支援事業の紹介 ・ 目指していきたい姿は住民同志の支え合いによる移動支援の形 ・ 道路運送法に基づいた「移送」について ・ アンケートは移動の実態把握だけでなく、担い手発掘も考慮し項目を設定
加藤部会長	それでは、ただ今の報告事項について質問等ありますか。
矢島委員	道路運送法に基づいた移送に関する説明の中で「反対給付」という言葉が出てきますが、どういう意味ですか。
井上委員	<p>私は福祉の立場なので交通部門に関わっていない前提でお話します。反対給付等も含め交通・移送に関することは交通部門に確認をしていく必要があります。犬山市でどんな事業を実施していくかが決まった段階で、道路運送法に則しているかの確認が必要になると思っています。例えば、お金を払う・受け取るに関する判断についても担当部署が行いますので、情報連携を行いながら確認し実施していく必要があります。</p> <p>愛知県移動支援事業としては、市民が公共交通機関を利用するということが前提としてあった上で、不足している部分を事業の中で補うという考えです。</p>
加藤部会長	事業を組み立てながら交通部門とも連携していくということで良いですね。他にありますか。
森岡委員	有償の移送の場合には登録が必要とのことですが、登録する場合の条件や登録料等

を教えてください。

事務局
(谷本)

自家用有償旅客運送については、バスやタクシーのみでは十分な移動サービスが提供されない、過疎地域等における運送という条件や、協議の場を設け必要性が検討されることが条件としてあります。そのため、単に登録だけすれば自家用車で運送ができるという簡単なものではありません。

百武防災交
通課長

イメージとしてはタクシーのようなものです。運転手には二種免許取得が必要ですし、車の台数によっては運行管理者の設置が必要などといった条件もあります。そのような条件が整った上で、運輸支局に登録し実施する形になりますので、ただ、登録し許可を得ればできるというものではないという形になります。

岡田会長

外出の現状④「交通手段がない」という方の割合が増えたということでしたが、この原因は分析されていますか。

事務局
(谷本)

この高齢者福祉・介護に関するアンケートにおいては、原因が見えるまでには至っていません。今回移動支援事業の中で配付するアンケートにおいては少し原因が見えてくるかもしれません。

岡田会長

「交通手段がない」という原因としては、自分が免許証を返上したためなのか、核家族化が進み、送迎してくれていた人がいなくなったからなのかなど、様々な原因が考えられ、それによって今後の事業方法が変わってくるのではないかと思います。今回配付するアンケートでそのあたりの分析ができると良いです。

加藤部会長

困りごとの原因・背景を知りたいということですね。
他にありますか。

では次に、次第(2)協議事項にうつります。

今回は資料2にあるアンケートの内容をより良いものにすることが目的です。良い点だけでなく改善点、レイアウトも含めご意見いただけたらと思います。事務局から資料2の説明をお願いします。

事務局
(谷本)

(資料2説明)

- ・市役所関係部署でアンケート内容を整理
- ・市民4,000人を無作為抽出、小学校区ごとに比較ができるよう必要母数を算出

加藤部会長

では、今から5分程アンケートを読み込み、その後5分でテーブルごと(隣合わせの2人)で意見をまとめましょう。

(検討)

加藤部会長

では、順に意見ををお願いします。

- 奥村委員 (奥村委員・森岡委員の意見として)
「要介護3～5」という説明がありますが、全く知らない人にとっては分かりづらいのではないのでしょうか。また、高齢者移動支援事業を実施するにあたり、若年層へのアンケート配付は必要なのでしょうか。高齢者を支援しているのは40～60代が多いと思うと、特に20代への配付は必要でしょうか。
- 事務局 (谷本)
今回若年層へアンケートを送付する意図としては、担い手を発掘するためでもあります。
- 加藤部会長
私から補足すると、実際大学生と接している中で、若い方が移動支援事業などに全く関心がないわけでないと感じます。時間があれば自分を送迎してあげたいという声も実際にあがっています。そのため、20代や30代を配付対象から外してしまうのは少し違うのではないかと思います。また、移動支援が必要であるのは高齢者に限ったことではないので、そういう意味でも様々な年齢の人に幅広くアンケートを配付するのは意味があると思います。
- 奥村委員
高齢者の移動支援事業ではないのですか。
- 事務局 (谷本)
愛知県のモデル事業は、高齢者を助ける事業として受託していますが、のちのちは子育て世代等高齢者以外にも事業が広がると良いと思っています。
- 加藤部会長
「要介護3～5」の表記については良かったですか。
- 森岡委員
要介護認定について知らない人にとっては、何段階介護度があるのか、どちらの介護度が軽いのか重いのかさえも分からないと思います。
- 井上委員
要介護3～5の方を除外した理由としては、車いすの方などの介助が必要な人を除くためですね。
- 事務局 (谷本)
はい。要介護3～5は車いすが必要な方、寝たきりの方となります。今回の移動支援事業では支援することができないと判断しましたので、アンケート対象者からは除きました。
要介護認定の表記については一度検討させていただきます。
- 加藤部会長
アンケートが届いた方からすると、アンケートの対象となった事実はもう分かっているのですが、要介護3～5の方を除外したことは、関係がないのかもしれませんが。無為抽出した事実の次にかっこ書きで記載する程度が良いと思われます。
あいさつ文から注目していただきありがとうございます。
- 矢島委員 (矢島委員・板津委員の意見として)

問3について。今回の事業イメージからすると、どの市町村へ行っているかの把握よりも、市内のどんな程度の距離へ外出しているかを把握した方が役立つのではないのでしょうか。

板津委員

具体的にどんな距離のニーズがあるか拾い上げるためにはそのような表記が必要ではないかと考えます。

事務局
(谷本)

当初、「家から何分、何m」という項目を設けていましたが、選択が難しくなってしまったため分かりやすく市町村表記にした経緯がありました。しかし、現在の形だどご指摘のとおり市内のどの程度の距離かは測れなくなっていますので、一度項目を検討したいと思います。

井上委員

(井上委員・熊崎委員の意見として)

問9について。参加できない理由に保険の項目がありますが、参加できる条件にも保険に関する項目を設けてはいかがでしょうか。高齢者がドライバーとして参加する場合もありますので、この条件を設けることによって、高齢者ドライバーの家族も安心して送り出せるのではないのでしょうか。

また、ドライバーの研修受講についても項目を設けてはいかがでしょうか。保険に関しては市として加入の支援はできないにしても、住民が何を望んでいるか参考として意見を徴収しても良いと思います。

事務局
(谷本)

項目に入れることで、犬山市で移動支援を実施するにあたっての課題が見えるということですね。

井上委員

移送にも様々な形がありますので、例えば社会福祉協議会の車両を使いボランティアドライバーが運転をするということもできると思います。

事務局
(谷本)

そうですね。自分の車両保険では不安なドライバーが多い場合には、そのような車両手配の形も考えていく必要がありますね。

井上委員

(井上委員・熊崎委員の意見として)

もう一点。若年層は移動に困っている方が少ないと思われるため、困っている方のニーズを拾うにあたり、若年層の回答の大部分が使えないのではないのでしょうか。そのため65歳以上のみへのアンケートが良いのではないのでしょうか。65歳以上が利用しやすい事業を作れば、それはのちのち利用対象者を若年層に広げたとしても利用できる形になっているのではないのでしょうか。

加藤部会長

ご参考までにという意見ですね。

熊崎委員

私自身30代なのですが、20代・30代にこのアンケートが届いた際に、移動に困っ

ていないにもかかわらず細かい移動状況を答えるべきかと感じたのが印象的でした。そのため、移動に困っている人には現在の移動状況を答えていただき、困っていない若年層には担い手の項目を答えていただくように、目的をしぼってみてはどうかということ井上委員と話していました。

加藤部会長

実は私と岡田会長も同じことを思っていました。

岡田会長

(岡田会長・加藤部会長の意見として)

4点ほど感じたことがありますのでお話しします。

1点目。今熊崎委員が話されたように、長いので途中で嫌になってしまう人もいますと思います。移動に困っていない方に一番聞きたいのは担い手としての参加の部分なので、初めに持ってきた方がよいのではないのでしょうか。

2点目。問2から問6の同じ項目が繰り返されている部分について聞き方を工夫した方がよいのではないのでしょうか。

3点目。今どきの学生は、QRコードを読み取るなどしてインターネット回答したいと思うのではないのでしょうか。リモート授業などでは、グーグルフォームを活用し回答することも多々行っていますし、国勢調査でもインターネット回答が行われているくらいです。

4点目。問7について。資料1で質問したことにもつながってきますが、たった3年で状況が変わってくることを思うと、現状の困りごとを把握するだけでなく、今後の不安について聞くことによって、今後利用が必要になる予備軍も把握できるのではないのでしょうか。

加藤部会長

補足として話します。2点目については、アクティビティごとに聞いた方がよいのではないかということです。買い物であれば買い物の頻度・行先・手段等を聞くということです。また、大学生と普段接している中で思うのは、今のままだと肝心な問9に行きつくまでに嫌になり、肝心の問9を書かないのではないかと感じたという率直な意見です。

3点目については、授業で活用している身としては回答率が上がるのではないかという感覚があります。

4点目については、今後の不安を聞くことによって、対策が考えられるのではないかということです。

百武防災交通課長

(百武課長・中村課長の意見として)

既に意見として出ましたが、配付対象年齢が低すぎるのではないかという点が気になっただけです。

加藤部会長

国際開発コンサルタンツさんは、アンケート設計をする方として何かありますか。

国際開発コ

グーグルフォームについては、他市町村での実施では、40代以下の回収率が若干上

ンサルタン
ツ加藤氏

がるということがありました。集計については紙ベースの集計と合わせる形になるので手間が倍になるという実情があります。特に、複数回答については集計が少し大変になります。しかし、話題性も含め実施する意味はあるのではないかと思います。

質問項目の順番については、委員の皆様が感じられたとおりでと思います。本当に移動支援が必要な方の移動を把握するといった面では、先に困っているかどうかを聞くということは必要だと思えます。

加藤部会長

では、委員の皆様からのご提案について事務局で再度検討いただき、反映できるものはぜひ反映してください。最終判断は事務局にお預けするというところで良かったですか。(委員異議なし)。では、よろしくお願ひいたします。

では、最後に「その他」について何かありますか。

事務局
(上原課長)

議事録公開にあたって、委員二名の署名が必要となります。(署名者について報告)もう1点。今回この会議の内容について写真を市ホームページ等に掲載させていただきたいのですが、ご了承いただけますか。(委員異議なし)。ありがとうございます。

事務局
(谷本)

私から1点。本日は貴重なご意見ありがとうございました。アンケートの内容については事務局に一任ということでお話いただいたのですが、事務局で検討し最終的なアンケートを一度皆さんに見ていただきたいと思えます。スケジュールがタイトになりご迷惑をおかけしますが、早急に対応させていただきますのでご協力よろしくお願ひいたします。

加藤部会長

その他ありますでしょうか。ないようですので、事務局にお返しします。

事務局
(上原課長)

ありがとうございました。

皆様のご意見を元にアンケートをより良い物にし、実際の移動支援事業の実施に結び付けていきたいと思えます。次回の検討部会は、年明けにアンケート結果が出た時期に開催したいと思えます。

本日はご多忙の中ご足労いただき、ご協議誠にありがとうございました。気を付けてお帰りください。

令和 2 年 11 月 2 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)